

IX. 銀行勘定における出資等エクスポージャー

1. リスク管理の方針及び手続

純投資株式は、リスク分散の観点から、1発行体あたりの保有限度額及び1業種あたりの保有上限比率を設けて投資額を管理しております。投資信託は、1ファンドあたりの保有限度額を設けるとともに、運用する会社の経営内容及び社会的評価を十分に審査し、個別ファンドの投資方針、投資手法、リターンを生み出すリスクの所在を十分に分析し投資を行っております。投資後は純投資株式、投資信託ともに評価損益、バリュエーション・アット・リスクの計測、及びストレステストを実施することによりリスク管理を行っております。また、個別銘柄及びファンドの時価下落時は、投資部署とミドル部署とで対応方針を協議するとともに、投資部署において、評価損率に応じた対応方針の検討・策定を行っております。

株式等の評価については、子会社株式については移動平均法による原価法、その他有価証券のうち時価のあるものについては決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）、時価のないものについては移動平均法による原価法又は償却原価法により行っております。また、その他有価証券の評価差額については、原則として全部純資産直入法により処理しております。

株式等について、会計方針等を変更した場合は財務諸表等規則第8条の3に基づき、変更の理由や影響額について財務諸表の注記欄に記載しております。

（注）出資等エクスポージャーには、銀行勘定における銀行法施行令（昭和57年政令第40号）第4条第4項第3号に規定する出資その他これに類するエクスポージャーを含む。

2. 出資等エクスポージャーの（連結）貸借対照表計上額等

【連結】

（単位：百万円）

	平成18年度	
	連結貸借対照表額	時価
上場している出資等エクスポージャー	289,934	289,934
上記に該当しない出資等エクスポージャー	4,592	4,592
合 計	294,527	294,527

【単体】

（単位：百万円）

	平成18年度	
	貸借対照表額	時価
上場している出資等エクスポージャー	289,613	289,613
上記に該当しない出資等エクスポージャー	6,141	6,141
合 計	295,754	295,754

3. 子会社・関連会社株式の（連結）貸借対照表計上額

【連結】

（単位：百万円）

	平成18年度	
	連結貸借対照表額	
子会社・子法人等	1,318	
関連法人等	—	
合 計	1,318	

【単体】

（単位：百万円）

	平成18年度	
	貸借対照表額	
子会社・子法人等	3,194	
関連法人等	—	
合 計	3,194	

4. 出資等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

【連結】

(単位：百万円)

	平成18年度
売却損益額	15,164
償却額	796

【単体】

(単位：百万円)

	平成18年度
売却損益額	15,116
償却額	796

5. (連結) 貸借対照表で認識され、かつ、(連結) 損益計算書で認識されない評価損益の額

【連結】

(単位：百万円)

	平成18年度
評価損益の額	149,841

【単体】

(単位：百万円)

	平成18年度
評価損益の額	149,876

6. (連結) 貸借対照表及び (連結) 損益計算書で認識されない評価損益の額

該当事項はありません。

7. 自己資本比率告示第18条第1項第1号の規定により補完的項目に算入した額

【連結】

(単位：百万円)

	平成18年度
その他有価証券の連結貸借対照表計上額の合計額から 帳簿価額の合計額を控除した額の45%相当額	67,428

【単体】

(単位：百万円)

	平成18年度
その他有価証券の貸借対照表計上額の合計額から 帳簿価額の合計額を控除した額の45%相当額	67,444

(注) 上記2.から7.の額には、複数の資産を裏付けとする資産（所謂ファンド）内の出資等エクスポージャーに係る額は含まれておりません。